

指導者インタビュー

コンテスト審査員を数々務める
プロダンサーに聞く!

コンテスト攻略法Q&A

Q コンテストのための小作品を創る上での注意点を教えてください。

A まず第一に、当たり前ですが、“ダンスを踊る”ことです。オリジナリティを意識し過ぎて、アクロバットを入れ過ぎたり、構成に凝り過ぎて、移動のための振り作りになってしまわないように、まずは、選んだ曲に対してどんな風にノッて踊っていくのが一番大切です。曲のイメージだけで衣装変えをするチームも多いですが、流れが悪くなってしまわないように、その作品や曲の流れに本当に必要なか!? ということを考える必要があります。また、音を何曲か編集して使う時は、1曲1曲の音量・音質や、不自然な音の途切れ、カウムのズレなどないように気をつけましょう。

Q 生徒やサークル生がコンテストに出ることのメリットはなんですか?

A コンテストの場合は、普通の作品作りとは違い、時間指定のある中で作るの、自分達の好きな曲やダンススタイル・構成などを、起承転結をつけて集約していく過程で、自分らしさを見つけていけることだと思います。また、何度も練習を重ねることで、技術アップはもちろん、仲間との結束力を深めたり、挑戦していく精神を持てるようになったりと、貴重な経験になると思いますね。



DANCER
MAYU (L.O.F.D./JAMMY)

◆Profile◆◆◆◆
女性hiphopダンスのトップチーム「L.O.F.D.」「JAMMY」として活躍。日本各地でゲストパフォーマー、WS、コンテスト審査員を務め、バックダンサーやPV、マスメディアにも多く出演。海外アーティストのフロントアクト等も行っている。



kids dance studio Vigoes
代表 中野 むつみ先生

◆Profile◆◆◆◆
東京武蔵村山市を拠点に約160名のキッズが参加する「kids dance studio Vigoes」代表。現在、文化学園大学杉並中学・高等学校ダンス部の外部指導員の他、東京都のダンス授業モデル校 武蔵村山市立第一中学校にて講師を務める。

学校でダンスを教えるプロダンサーに聞く! 学生指導法Q&A

Q 中学生に教えるにあたって、工夫した点はなんですか?

A 中学生が聴いているような曲をウォームアップに使用し、ダンスが初めての生徒でも興味を持って授業に取り組んでもらえるようにしました。また、簡単にステップが踏めるように独自のステップボードを作り、ゲーム世代の子供たちが楽しくステップを習得出来るように工夫をしました。

Q 体育の授業でダンスを教えるときのアドバイスをお願いします。

A 体育館では鏡がなく、生徒たちは自分の姿が見えていないので、形のポイントをわかりやすい言葉で伝えること、そして、短い時間でグループ発表まで持っていくため、内容を詰めすぎないようにすることが大切です。ビデオを撮って見せるとカッコよく踊ろうと工夫するようになります。また、hiphopの曲は歌詞にも注意するようにしましょう。

学校のダンス部・同好会で競う「Dリーグ」開幕!

Dance League 2012 開催決定!!

この度、学校教育とダンスとの関わりを支援している当協会の活動の一環として、中学校・高校の部活・同好会で活動する学生、生徒の皆さんに、野球やサッカーなど他の部活には必ずあるような「対外試合の場」を提供すべく、『Dance League 2012』を開催することとなりました!

★大会概要★

	第1回	第2回	第3回
日程	6月10日(日)	8月26日(日)	12月下旬
会場	品川区立伊藤学園 体育館		ホールでの公演予定 ※ワークショップはありません
対象	(小学校)、中学校、高校の部活動・同好会の学生・生徒 ※学校及び顧問、責任者の先生の許可のある団体に限ります。		

★Dリーグは、「3つの場」を提供することを目的としています★

1. 定期的なダンス発表の場

せっかく意欲的にダンスを習得しても、発表するという目標がなければ長続きしません。モチベーションを持続させるには定期的な発表の場が必要です。

2. 同世代のダンサーの切磋琢磨の場

ダンスという共通点を持った同世代の仲間たちと触れ合い切磋琢磨することで向上心が生まれます。また、地域交流にも役立て下さい。

3. ダンス技術を磨く場

同じ作品を何度も練習することは、技術の上達に繋がります。また、本戦(ダンスコンテスト)終了後に、プロダンスインストラクターによるワークショップを開催し、全体のスキルアップをサポート致します。

★大会ルール★

- 各学校から何チームでも参加可能。(原則1チーム4名以上)
- 各回の各学校の最高得点を獲得したチームの得点を学校の得点とし、3回の合計得点の多い学校を年間の優勝校とします。
- 評価基準は、①表現力、②フォーメーション、③ダンススキル、④衣装、⑤選曲の5つの観点となります。
- ジャンル不問。

★登録費用★

¥2,500 (一人あたり)
※上記登録料によって、3回のコンテスト・2回のワークショップに無料で参加できます。また、登録により、その他当協会からダンスに関する情報を提供させていただきます。

★登録方法★

当協会に登録希望の旨をご連絡下さい。登録用紙をメールもしくはご郵送致しますので、必要事項をご記入の上ご提出頂ければ、こちらから仮登録完了のご連絡を差し上げます。その後、規定の登録料のお支払い頂き、登録完了となります。

support@danceinstructor.jp

● keep it up! vol.2 ●

発行日/2012年4月1日 発行人/須田浩史 編集人/青柳有厘
発行/NPO法人ダンスインストラクター協会
お問合せ/support@danceinstructor.jp

DIS DANCE
INSTRUCTOR
SOCIETY

FREE PAPER

Vol.2 2012.04.01

Keep it up!

「Keep it up!」は、誰もがダンスを楽しく継続できる環境作りを応援する機関紙です。

代表あいさつ

NPO法人
ダンスインストラクター協会
代表 須田 浩史



NPO法人ダンスインストラクター協会は、「ダンス指導者支援」「地域のダンスサークルの支援」の2つの「支援」を目的として設立し、活動を始めてから早4年目を迎えます。

現在では、上記2つの支援に加え、中学校・高等学校の先生方を対象に「指導者講習会」を定期的に開催し、一昨年度と昨年度では、東京都体育研究会にても同会を開催させて頂きました。

どの活動も、ダンスを楽しむ人やダンスを指導する人など「ダンスに携わる人を根底から支えられる活動をしたい」という方針の基に行なっております。

ダンス(特に現代的なリズムのダンスやストリートダンス)に対する意識は、近年、より一般的な感覚へと変化しており、芸術性やファッション性が重視されるものだけではなく、心身の健康を促進するための運動として、協調性や団体行動を学ぶ場としてなど、様々な広がりを見せています。また、多くの地域の祭りやイベント、学校現場での文化祭や運動会などでも取り入れられ、ダンスがメインコンテンツとなる場も珍しくありません。

当協会では、その広がりを力強く支える存在として、今後も積極的に活動していきたいと考えております。

ダンス表現を楽しみ、成果を発表し、時には競い合う。そのような機会や情報をたくさん提供できるよう努力して参りますので、今後ともご支援のほど何卒宜しくお願い致します。